

第57回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会  
第336回日本臨床化学会東海・北陸支部例会  
連合大会 プログラム・抄録集

会期：平成30年3月11日（日）9時00分～16時30分

会場：金沢勤労者プラザ

〒920-0022 石川県金沢市北安江3-2-20

学会テーマ 「臨床検査の新たな展開」

連合大会長 飯 沼 由 嗣

(金沢医科大学 臨床感染症学、金沢医科大学病院 中央臨床検査部)

事務局：第57回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会

第336回日本臨床化学会東海・北陸支部例会

連合大会事務局 上出美春

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1

金沢医科大学 臨床感染症学

TEL: 076-218-8452 FAX: 076-218-8453

E-mail: thjslm57@kanazawa-med.ac.jp

後援 一般社団法人 石川県臨床衛生検査技師会

# ご 挨拶

平成30年2月吉日

会員各位

謹啓

向春の候、各位におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、第57回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会 第336回日本臨床化学会東海・北陸支部例会 連合大会を、平成30年3月11日（日）に、金沢市の金沢勤労者プラザにおきまして金沢医科大学病院中央臨床検査部主幹で開催いたします。

本連合大会のテーマは、「臨床検査の新たな展開」としました。臨床検査の将来を見据えた企画を予定しております。特別講演は、金沢医科大学 血液免疫内科学教授 正木康史先生をお招きし、「多クローン性高ガンマグロブリン血症を呈する疾患の鑑別～IgG4関連疾患、多中心性Castleman病など～」としてご講演いただきます。IgG4関連疾患は本邦より発信された新しい概念として注目されており、基礎から臨床まで幅広いお話しを伺うことができると思います。

また、本学会のテーマのもと、シンポジウム「臨床検査の新たな展開」を企画し、3名の先生にご講演いただく予定です。ゲノム医療の進歩、質量分析器の臨床検査への応用、次世代シーケンサーを用いた病原菌診断と、それぞれの領域の最先端の情報をお聞きできると思います。なお、本シンポジウムは、臨床検査専門医更新のための講習会として認定されております。

ランチョンセミナーは、「正しい臨床検査を適切に届けるために」と「迅速核酸増幅法による感染症検査の将来像」の2題あり、こちらも最新の話題であり、有用な情報を得ることができます。

展示会場では、9社の機器試薬展示を予定しております。空いた時間に自由に見学質問していただき、機器試薬セミナーとして簡単なプレゼンも企画しております、是非、新しい情報を得ていただければと思います

一般演題は30題の申込をいただきまして、まことにありがとうございました。演者、座長の方々には、宜しく願い申し上げます。

最後に、本大会を開催するにあたり、多くの企業から協賛を頂戴致しました。この場を借りて御礼申し上げます。そして、年度末の開催ではありますが、お一人でも多くの皆様に本大会にご参加いただき、臨床検査の発展に向けて、将来展望など情報交換する機会としていただければと思います。

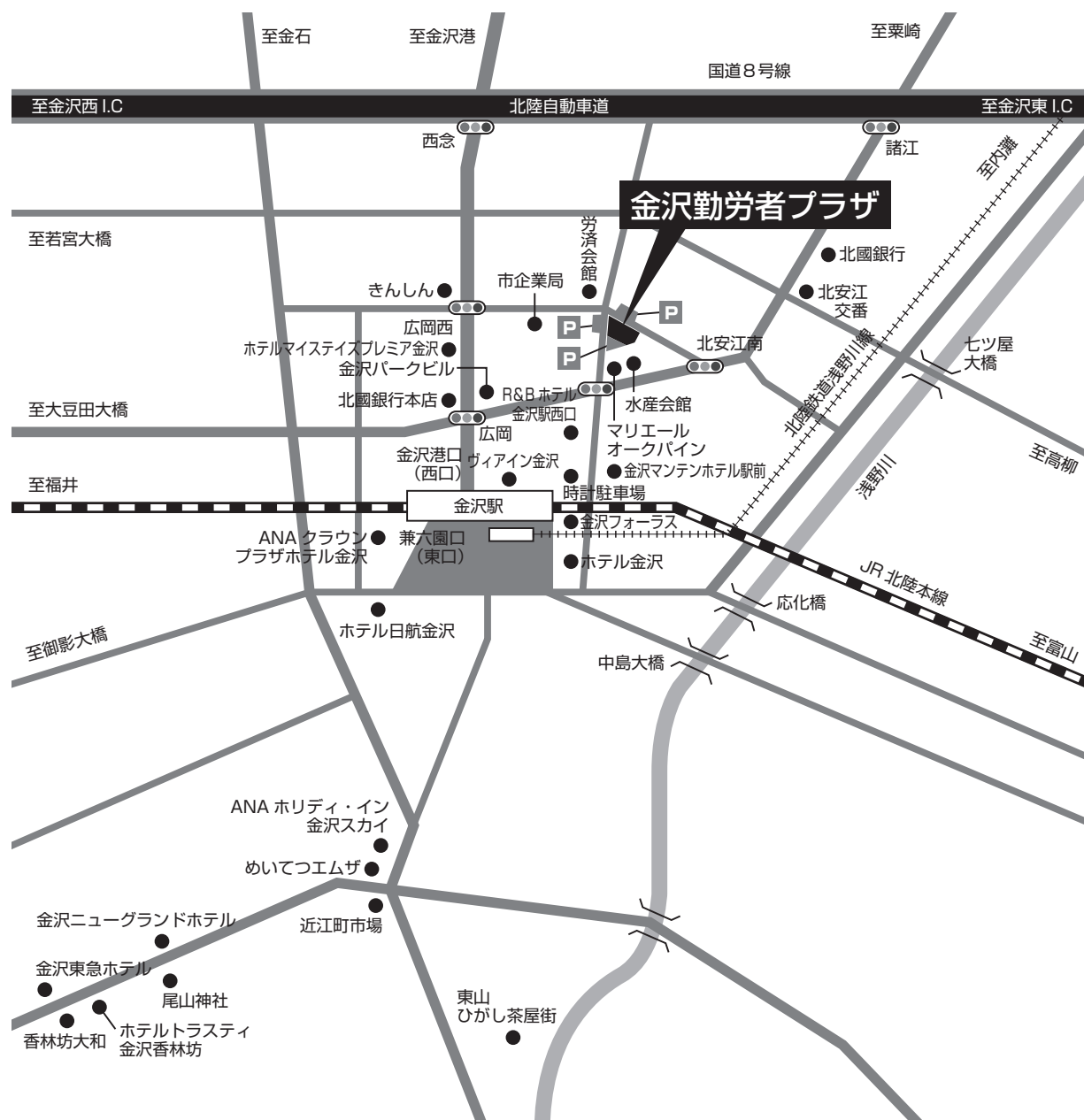
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

謹白

第57回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会  
第336回日本臨床化学会東海・北陸支部例会

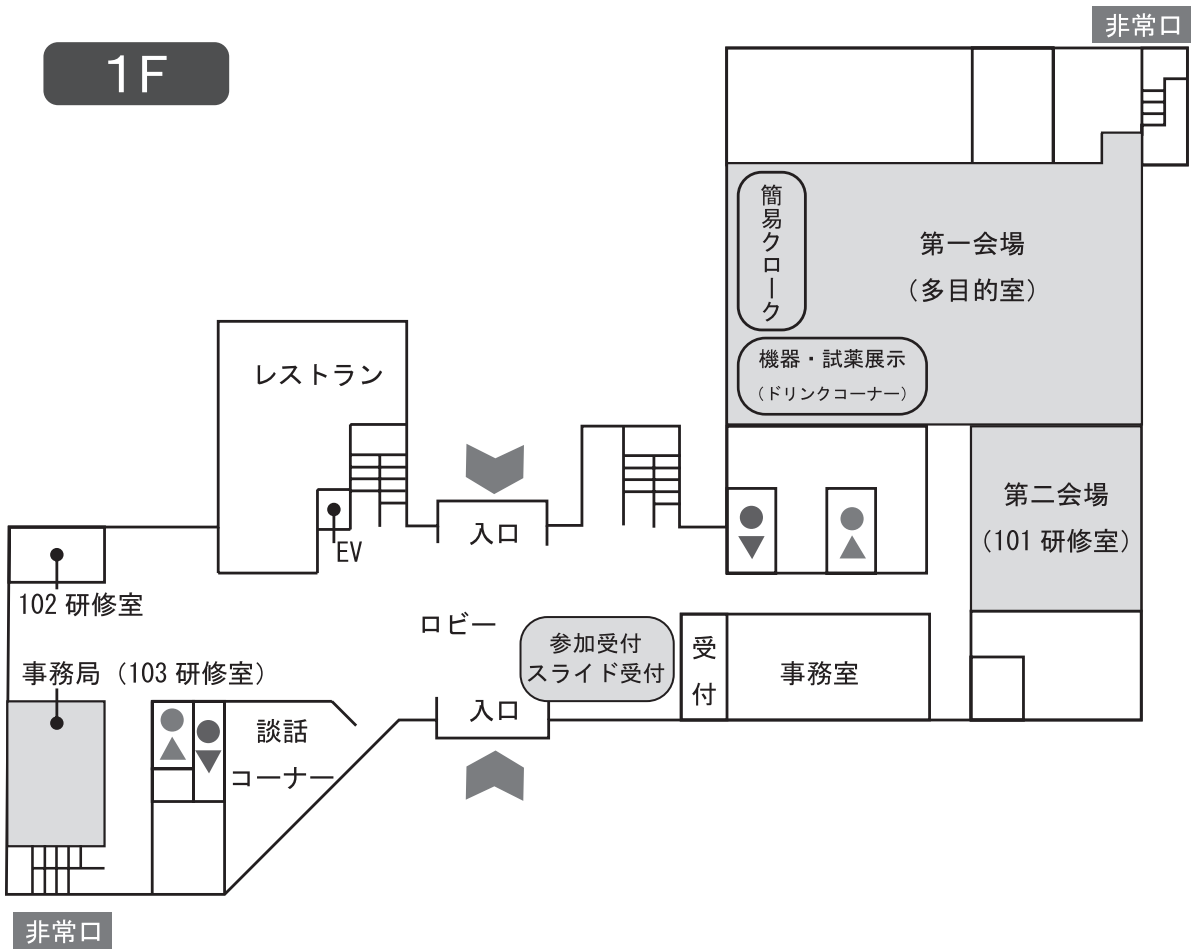
連合大会 大会長 飯 沼 由 嗣  
(金沢医科大学 臨床感染症学 教授)  
(金沢医科大学病院 中央臨床検査部 部長)

## 会場への交通アクセス



- 金沢駅より徒歩10分
  - お車でお越しの場合は駐車場（190台）が併設されています。  
受付にて認証を受けることで最初1時間無料、以後1時間ごと100円となります。
  - 香林坊付近にお泊りの方
    - ・北陸鉄道バス 笠舞駅西線（香林坊－戸水） 勤労者プラザ前にて下車 0分
    - ・上記以外のバスでも「金沢駅前（東口）」または「金沢駅西口」の行きバスにご乗車いただきますとJR金沢駅まで来ることができます。
- ※会場は金沢港口（西口）方面となります。

# 会場案内図



# ご 案 内

## 1. 参加者へのご案内

- ①受付は金沢勤労者プラザ1階ロビーにて、3月11日（日）8：30より開始します。
- ②参加者は受付で登録の上、ネームカードをお受け取り下さい。なお、ネームカードは会期中、必ず身に付けて下さい。
- ③参加費は2,000円です。学生（社会人大学院生を除く）は、学生証提示で無料となります。
- ④抄録集は必ずご持参ください。当日、ご希望の方は実費（1,000円）で販売致しますが、部数に限りがありますのでご了承ください。
- ⑤ランチョンセミナーの整理券は8：30より、受付にて配布します（先着順です）。

## 2. 支部総会のご案内

支部総会は3月11日（日）13：00より第一会場（多目的室）にて行います。

## 3. 試薬機器展示

9：00～15：45の間、展示会場にて常設します。

## 4. ドリンクコーナー

展示会場にドリンクコーナーを設置しますのでご利用下さい。

## 5. 臨床検査専門医認定・更新に係る講習会

シンポジウム「臨床検査の新たな展開」（第一会場、10：00～12：00）は、日本専門医機構認定基本領域 臨床検査専門医更新のための「臨床検査領域講習」2単位に認定されています。講習会では受講証明書が発行されます。証明書の配付または受取は講習開始後15分までとします。講習会終了後、書式の上半分を切り取り、提出して下さい。

## 6. 座長の先生へ

- ①定刻になりましたら、セッションを開始願います。次座長の先生は定刻10分前までに次座長席でお待ち下さい。
- ②担当時間内の時間厳守にご配慮下さい。

## 7. ご発表の先生方へ

- ①特別講演、シンポジウム、一般演題、ランチョンセミナーのすべての発表で使用するPCは、Windows10搭載、ソフトはPowerPoint 2010/2013/2016で、プロジェクター1台です。発表データは、USBメモリーでご持参し、発表30分前までに「スライド受付（1階ロビー）」にて必ず受付をお済ませ下さい。
- ・フォントはOS標準フォントをご使用下さい。  
日本語：MSゴシック、MS明朝、MSPゴシック、MSP明朝

英 語：Arial、Times New Roman、Century等

・ファイル名は、「演題番号 演者名.pptx」としてください。

②特別講演、シンポジウム、ランチョンセミナーについてはPC持込可能です。「スライド受付（1階ロビー）」に申し出て、PC（ノートパソコン）本体とACアダプターを会場にお持ち下さい。スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除して下さい、

・PC持込の場合は、画面接続はD-sub15となります。PCの外部モニター出力端子の形状を必ず確認していただき、必要な場合はPC付属の変換端子をご持参下さい。

③お預かりしたデータは、会期終了後直ちに、責任を持って消去します。

④定刻前までに、次演者席でお待ち下さい。スライド操作は各自でお願いします。スライド枚数には制限はありませんが、時間内に終了するようご配慮下さい。

#### 【発表時間】

一般演題の口演時間は6分、質疑応答は2分です。発表時間終了1分前に黄色ランプ、終了を赤ランプでお知らせします。発表時間厳守にご協力をお願いします。

#### 【質疑・討論】

①質疑・討論者は予め会場内の質疑・討論用マイクの近くで待機して下さい。

②質疑・討論者は所属・氏名を明確に述べ、簡潔に発言していただきますようお願いいたします。

#### 8. COI（利益相反）開示のお願い

①演題発表時には、利益相反状態の開示が必要になります。

②利益相反の有無を、口演演題はスクリーン掲示にて開示して下さい。（口演演題はスライドの2枚目に掲示して下さい。）

③開示書式は、下記よりダウンロードを行って下さい。

<http://www.jslm.org/committees/coi/jslm.html>

#### 9. その他

駐車場は有料です。できる限り公共交通機関をご利用下さい。

# 大会日程表

	第一会場 (多目的室)	第二会場 (101 研修室)	機器・試薬展示 (多目的室)	事務局 (103 研修室)
8:30				
	受付(1 階ロビー)			8:30 ~ 16:30
9:00	大会長挨拶			
	9:00 ~ 9:48 一般演題1 (血液・一般・輸血 6題) 1-1~1-6	9:00 ~ 9:56 一般演題2 (臨床化学・免疫・遺伝子・管理 I 7題) 2-1~2-7	9:00 ~ 15:45	
10:00				
	10:00 ~ 12:00			
11:00	シンポジウム 「臨床検査の新たな展開」 (臨床検査領域講習)			
12:00				
	12:10 ~ 13:00 ランチョンセミナー1 「正しい臨床検査を 適切に届けるために」 共催: シスメックス株式会社	12:10 ~ 13:00 ランチョンセミナー2 「迅速核酸増幅法による 感染症検査の将来像」 共催: ベックマンコールター株式会社	機器・試薬展示	事務局
13:00	13:00 ~ 13:20 支部総会			
	13:30 ~ 14:30 特別講演 「多クローン性高ガンマグロブリン血症を 呈する疾患の鑑別～IgG4関連疾患、 多中心性Castleman病など～」			
15:00	14:30 ~ 15:20 機器・試薬セミナー			
	15:20 ~ 15:52 一般演題3(生理 4題) 1-7~1-10	15:20 ~ 15:52 一般演題5 (臨床化学・免疫・遺伝子・管理 II 4題) 2-8~2-11		
16:00	15:52 ~ 16:32 一般演題4(微生物 5題) 1-11~1-15	15:52 ~ 16:24 一般演題6 (臨床化学・免疫・遺伝子・管理 III 4題) 2-12~2-15		
	連合大会長謝辞			

# 連合大会プログラム

## ■特別講演

第一会場（多目的室）13：30～14：30

### 「多クローン性高ガンマグロブリン血症を呈する疾患の鑑別 ～ IgG4 関連疾患、多中心性 Castleman 病など～」

演者：正木康史（金沢医科大学 血液免疫内科学  
／金沢医科大学病院 血液リウマチ膠原病科）  
座長：飯沼由嗣（金沢医科大学 臨床感染症学）

## ■シンポジウム

第一会場（多目的室）10：00～12：00

### 「臨床検査の新たな展開」

本シンポジウムは、日本専門医機構認定基本領域 臨床検査専門医更新のための「臨床検査領域講習」2単位に認定されています。

座長：北島 勲（富山大学大学院医学薬学研究部 臨床分子病態検査学）  
田中 靖人（名古屋市立大学大学院医学研究科 病態医科学）  
基調講演：ゲノムサイエンスからゲノム医療へ  
演者：中谷 中（三重大学医学部附属病院 中央検査部）  
講演1：臨床検査のための MALDI-MS 研究  
演者：岩本慎一（株式会社 島津製作所 田中耕一記念質量分析研究所）  
講演2：次世代シーケンサーを用いた病原体診断  
演者：黒田 誠（国立感染症研究所 病原体ゲノム解析センター）

## ■ランチョンセミナー

12：10～13：00

第一会場（多目的室）

### 「正しい臨床検査を適切に届けるために」

演者：前川真人（浜松医科大学医学部 臨床検査医学）  
座長：中谷 中（三重大学医学部附属病院 中央検査部）  
共催：シスメックス株式会社

第二会場（101 研修室）

### 「迅速核酸増幅法による感染症検査の将来像」

演者：高橋 聡（札幌医科大学医学部 感染制御・臨床検査医学講座）  
座長：石井潤一（藤田保健衛生大学医学部 臨床検査科）  
共催：ベックマンコールター株式会社



座長 關谷 暁子（金沢大学 医薬保健研究域保健学系）  
二木 敏彦（金沢赤十字病院 検査部）

## 〈血液・一般・輸血〉

### 1-1 新規凝固線溶試薬「エルピア FDP-P」の基礎的検討

○宮前 佳織<sup>1)</sup>、藤田 晴美<sup>1)</sup>、森 日登美<sup>1)</sup>、田村 渉<sup>1)</sup>、尾重 香里<sup>1)</sup>、林 実佳<sup>1)</sup>、  
田中 佳<sup>1)</sup>、飯沼 由嗣<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup> 金沢医科大学病院 中央臨床検査部、<sup>2)</sup> 金沢医科大学病院 臨床感染症学

### 1-2 末梢血 CD34 陽性細胞数測定による末梢血幹細胞採取量の予測について

○小西あおい<sup>1)</sup>、浜島 正人<sup>1)</sup>、岡本 典子<sup>1)</sup>、可見 里美<sup>1,3)</sup>、佐藤 茂<sup>1)</sup>、井上 貴子<sup>1)</sup>、  
楠本 茂<sup>2)</sup>、田中 靖人<sup>1,3)</sup>

<sup>1)</sup> 名古屋市立大学病院 中央臨床検査部、<sup>2)</sup> 名古屋市立大学病院 血液・腫瘍内科、

<sup>3)</sup> 名古屋市立大学大学院医学研究科 病態医科学

### 1-3 ポリブ切除術後に止血困難を来した先天性第 X 因子欠乏症ヘテロ接合型の 1 例

○杉江 奈々<sup>1)</sup>、上野 智浩<sup>1)</sup>、仁井見英樹<sup>1)</sup>、北島 勲<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部

### 1-4 赤血球抗原情報検索システムを導入して

○吉田 隼太、安村 敏、道野 淳子、中出 祥代、佐竹伊津子、富山 隆介、大槻 晋也、  
島 京子、北島 勲

富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部

### 1-5 自動血球分析装置 XN-9100 を用いた血算業務効率化の検討

○杉澤 慧香<sup>1)</sup>、山中 勝正<sup>1,2)</sup>、小杉 律子<sup>1)</sup>、倉内 貴成<sup>1)</sup>、鶴見 奈央<sup>1)</sup>、上甲 紗愛<sup>1)</sup>、  
濱田 悦子<sup>1)</sup>、前川 真人<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup> 浜松医科大学医学部附属病院 検査部、<sup>2)</sup> 浜松医科大学 臨床検査医学講座

### 1-6 腹水中にコレステロール結晶が見られた 1 症例

○中川 静代<sup>1)</sup>、松本 正美<sup>1)</sup>、田中 佳<sup>1)</sup>、橋本 綾<sup>1)</sup>、山口 文苗<sup>1)</sup>、永田 勝宏<sup>1)</sup>、  
柳田 善為<sup>1)</sup>、相川あかね<sup>2)</sup>、柴田 建雄<sup>3)</sup>、飯沼 由嗣<sup>1,4)</sup>

<sup>1)</sup> 金沢医科大学病院 中央臨床検査部、<sup>2)</sup> 金沢医科大学 臨床病理学、

<sup>3)</sup> 金沢医科大学 産科婦人科学、<sup>4)</sup> 金沢医科大学 臨床感染症学

座長 柴田 宏 (北陸大学 医療保健学部)

竹村 正男 (藤田保健衛生大学大学院 医療科学専攻・先進診断システム探索講座)

### 〈臨床化学・免疫・遺伝子・管理 I〉

#### 2-1 プロカルシトニン高値例における感染症病態の解析

○薄田 大輔<sup>1,2)</sup>、仁木 裕子<sup>2)</sup>、河合 泰宏<sup>1,2)</sup>、飯沼 由嗣<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup> 金沢医科大学 臨床感染症学、<sup>2)</sup> 金沢医科大学病院 中央臨床検査部

#### 2-2 肝線維化進展度判定のための糖鎖マーカー M2BPGi の成因別評価

○神田 理絵<sup>1)</sup>、五藤 孝秋<sup>1)</sup>、大池 知行<sup>1)</sup>、大橋 実<sup>1)</sup>、佐藤 茂<sup>1)</sup>、井上 貴子<sup>1,2)</sup>、  
田中 靖人<sup>1,2,3)</sup>

<sup>1)</sup> 名古屋市立大学病院 中央臨床検査部、<sup>2)</sup> 名古屋市立大学病院 臨床検査科、

<sup>3)</sup> 名古屋市立大学大学院医学研究科 病態医科学

#### 2-3 生物学的製剤の血中濃度は RA 治療効果を反映しているか？

○佐藤 正夫<sup>1)</sup>、竹村 正男<sup>2,3)</sup>、伊藤 弘康<sup>3)</sup>、清島 満<sup>3)</sup>、斎藤 邦明<sup>1,4)</sup>

<sup>1)</sup> 大橋・谷整形外科 リウマチセンター、

<sup>2)</sup> 藤田保健衛生大学大学院医療科学専攻 先進診断システム探索講座、

<sup>3)</sup> 岐阜大学大学院医学系研究科 病態情報解析医学、

<sup>4)</sup> 藤田保健衛生大学大学院医療科学専攻 病態制御解析講座

#### 2-4 RA 患者におけるアミロイド自己抗体の検出について

○竹村 正男<sup>1,3)</sup>、佐藤 正夫<sup>2)</sup>、伊藤 弘康<sup>3)</sup>、清島 満<sup>3)</sup>、斎藤 邦明<sup>1,4)</sup>

<sup>1)</sup> 藤田保健衛生大学大学院医療科学 先進診断システム探索講座、

<sup>2)</sup> 大橋・谷整形外科 リウマチセンター、

<sup>3)</sup> 岐阜大学大学院医学研究科 病態情報解析医学、

<sup>4)</sup> 藤田保健衛生大学大学院医療科学 病態制御講座

#### 2-5 直接作用型抗ウイルス薬で治療したゲノタイプ 1 型 C 型慢性肝疾患に見られる脂質代謝の経時的変化

○井上 貴子<sup>1,2)</sup>、五藤 孝秋<sup>2)</sup>、大池 知行<sup>2)</sup>、可見 里美<sup>2)</sup>、佐藤 茂<sup>2)</sup>、  
菊池 祥平<sup>1,2,3)</sup>、田中 靖人<sup>1,2,4)</sup>

<sup>1)</sup> 名古屋市立大学病院 臨床検査科、<sup>2)</sup> 名古屋市立大学病院 中央臨床検査部、

<sup>3)</sup> 名古屋市立大学大学院医学研究科 心臓・腎高血圧内科学、

<sup>4)</sup> 名古屋市立大学大学院医学研究科 病態医科学

#### 2-6 当院における麻疹含有ワクチンの接種状況と麻疹抗体価の陽転化率及び経年的変化の検討

○古橋 一樹<sup>1,2)</sup>、名倉 理教<sup>1,2)</sup>、山田 尚弘<sup>1)</sup>、鈴木 利史<sup>1)</sup>、高岡 雅代<sup>1)</sup>、  
澤木ゆかり<sup>1)</sup>、原田 岳<sup>1)</sup>、前川 真人<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup> 浜松医科大学医学部附属病院 感染対策室、<sup>2)</sup> 浜松医科大学医学部附属病院 検査部

## 2-7 IgG4 関連疾患とサルコイドーシスを疑い高カルシウム性腎症を来した一症例

○吉田 治義<sup>1)</sup>、陳 又豪<sup>1)</sup>、高崎 俊和<sup>1)</sup>、堀口 孝泰<sup>1)</sup>、高橋 和人<sup>1)</sup>、吉田美智子<sup>1)</sup>、  
小西 淳二<sup>1)</sup>、小西 孝<sup>1)</sup>、門野 正義<sup>2)</sup>、森谷 祐司<sup>2)</sup>、川上 悟司<sup>3)</sup>、小西 聡史<sup>4)</sup>、  
伊藤 功朗<sup>4)</sup>、橋 直生<sup>5)</sup>、岩野 正之<sup>5)</sup>、内木 宏延<sup>6)</sup>

<sup>1)</sup> 杉田玄白記念公立小浜病院 内科、<sup>2)</sup> 同 臨床検査科、<sup>3)</sup> 同 放射線科、

<sup>4)</sup> 京都大学医学部附属病院 呼吸器内科、<sup>5)</sup> 福井大学医学部 腎臓内科、

<sup>6)</sup> 福井大学医学部 分子病理学

座長 世戸 弘美（金沢医科大学病院 中央臨床検査部）  
濱田 敏彦（福井大学医学部附属病院 検査部）

## 〈生理〉

### 1-7 心尖部四腔像の左房横径は左房容積を反映する指標である

○下山田佳代<sup>1)</sup>、菊池 祥平<sup>1,2)</sup>、青木比早子<sup>1)</sup>、小岸 充子<sup>1)</sup>、藤井 久枝<sup>1)</sup>、鈴木 優子<sup>1)</sup>、  
柄野小百合<sup>1)</sup>、塩崎 舞<sup>1)</sup>、堀口 恭子<sup>1)</sup>、大橋 実<sup>1)</sup>、佐藤 茂<sup>1)</sup>、井上 貴子<sup>1)</sup>、  
田中 靖人<sup>1,3)</sup>

<sup>1)</sup> 名古屋市立大学病院 中央臨床検査部、

<sup>2)</sup> 名古屋市立大学大学院医学研究科 心臓・腎高血圧内科学、

<sup>3)</sup> 名古屋市立大学大学院医学研究科 ウイルス学

### 1-8 FMD 検査における L-FMC の発生に関わる因子についての検討

○永元 健啓<sup>1)</sup>、寺上 貴子<sup>1)</sup>、中田 晶子<sup>1)</sup>、中出 祐介<sup>1)</sup>、大江 宏康<sup>1)</sup>、森 三佳<sup>1)</sup>、  
林 研至<sup>1)</sup>、酒井 佳夫<sup>1,2)</sup>、和田 隆志<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup> 金沢大学附属病院 検査部、<sup>2)</sup> 金沢大学大学院 腎病態統御学

### 1-9 大脳白質病変の分類別関連因子の検討

○齋藤 清隆<sup>1)</sup>、山村 修<sup>2)</sup>、橋本 儀一<sup>1)</sup>、大竹 由香<sup>1)</sup>、津田裕美子<sup>1)</sup>、前田 文江<sup>1)</sup>、  
岸本 葵<sup>1)</sup>、木戸口周平<sup>1)</sup>、浜田 敏彦<sup>1)</sup>、木村 秀樹<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 福井大学医学部附属病院 検査部 <sup>2)</sup> 同 神経内科学・地域医療推進講座

### 1-10 刺激提示装置の違いによる VEP 波形に関する基礎的検討

○鶴野いずみ<sup>1)</sup>、中田 晶子<sup>1)</sup>、油野 岳夫<sup>1)</sup>、寺上 貴子<sup>1)</sup>、中出 祐介<sup>1)</sup>、大江 宏康<sup>1)</sup>、  
森 三佳<sup>1)</sup>、林 研至<sup>1)</sup>、酒井 佳夫<sup>1,3)</sup>、岩佐 和夫<sup>2)</sup>、和田 隆志<sup>1,3)</sup>

<sup>1)</sup> 金沢大学附属病院 検査部、<sup>2)</sup> 金沢大学附属病院 神経内科、

<sup>3)</sup> 金沢大学大学院 腎病態統御学

座長 中河 竜也（厚生連高岡病院 臨床検査部）  
新川 晶子（石川県立中央病院 医療技術部検査室）

### 〈微生物〉

#### 1-11 当院で分離された PVL 陽性 MRSA における SCC<sub>mec</sub> 領域の解析

- 船木 俊孝<sup>1,2)</sup> 久川 聡<sup>1)</sup>、山崎 洋平<sup>2)</sup>、田原佐知子<sup>3)</sup>、吉田 勝彦<sup>3)</sup>、福地 邦彦<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup> 昭和大学病院 臨床病理診断科、<sup>2)</sup> 昭和大学藤が丘病院 呼吸器内科、  
<sup>3)</sup> 昭和大学病院 臨床検査室

#### 1-12 臨床微生物部門検査研究班アンケート調査結果（グラム染色について）

- 片山 雪絵、梅田 由佳、岡田 美帆、中室智恵美、坂井優喜子、麻生 都、  
米澤由美子、坂上由貴子、新川 明子、河村 佳江  
石川県臨床衛生検査技師会 臨床微生物部門検査研究班

#### 1-13 臨床微生物部門検査研究班アンケート調査結果（血液培養について）

- 梅田 由佳、片山 雪絵、岡田 美帆、中室智恵美、坂井優喜子、麻生 都、  
米澤由美子、坂上有貴子、新川 晶子、河村 佳江  
石川県臨床衛生検査技師会 臨床微生物部門検査研究班

#### 1-14 *Tsukamurella tyrosinosolvens* によるカテーテル関連血流感染症の一例

- 金谷 和美<sup>1)</sup>、村 竜輝<sup>1)</sup>、麻生 都<sup>1)</sup>、森田 恵美<sup>1)</sup>、河村 佳江<sup>1)</sup>、薄田 大輔<sup>1,2)</sup>、  
河合 泰宏<sup>1,2)</sup>、飯沼 由嗣<sup>1,2)</sup>  
<sup>1)</sup> 金沢医科大学病院 中央臨床検査部、<sup>2)</sup> 金沢医科大学 臨床感染症学

#### 1-15 グリコペプチド低感受性 MRCNS の臨床背景と治療成績に関する検討

- 河合 泰宏<sup>1,2)</sup>、村 竜輝<sup>2)</sup>、麻生 都<sup>2)</sup>、森田 恵美<sup>2)</sup>、河村 佳江<sup>2)</sup>、金谷 和美<sup>2)</sup>、  
薄田 大輔<sup>1,2)</sup>、飯沼 由嗣<sup>1,2)</sup>  
<sup>1)</sup> 金沢医科大学 臨床感染症学、<sup>2)</sup> 金沢医科大学病院 中央臨床検査部

座長 井上 貴子（名古屋市立大学病院 臨床検査科）  
上野 智浩（富山大学附属病院検査・輸血細胞治療部）

### 〈臨床化学・免疫・遺伝子・管理Ⅱ〉

#### 2-8 テキストマイニングを用いた臨地実習後アンケートの分析

○油野 岳夫<sup>1)</sup>、關谷 暁子<sup>1,2)</sup>、中出 祐介<sup>1)</sup>、中田 晶子<sup>1)</sup>、寺上 貴子<sup>1)</sup>、大江 宏康<sup>1)</sup>、  
森 三佳<sup>1)</sup>、林 研至<sup>1)</sup>、酒井 佳夫<sup>1,3)</sup>、和田 隆志<sup>1,3)</sup>

<sup>1)</sup> 金沢大学附属病院 検査部、<sup>2)</sup> 金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科病態検査学

<sup>3)</sup> 金沢大学大学院 腎病態統御学

#### 2-9 Minor Variant Finder ソフトウェアを活用した遺伝子変異の検出

○菊池 有純<sup>1)</sup>、澤村 卓宏<sup>1)</sup>、野中 健一<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 社会医療法人 大雄会医科学研究所、<sup>2)</sup> 総合大雄会病院

#### 2-10 直接型抗ウイルス薬治療後に C 型肝炎ウイルス感染の再燃を来した症例に関する検討

○折田 千夏<sup>1)</sup>、前河 晶子<sup>1)</sup>、深町 美尋<sup>1)</sup>、大江 宏康<sup>1)</sup>、森 三佳<sup>1)</sup>、酒井 佳夫<sup>1,2)</sup>、  
和田 隆志<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup> 金沢大学附属病院 検査部、<sup>2)</sup> 金沢大学大学院 腎病態統御学

#### 2-11 化学発光免疫測定法を測定原理としたプロカルシトニン測定試薬「BRAHMS PCT・アボット」の基礎性能評価

○新免 望<sup>1)</sup>、鳥居 国雄<sup>1)</sup>、旭 ななえ<sup>1)</sup>、敦賀佳奈子<sup>1)</sup>、井村 敏雄<sup>1)</sup>、岩野 正之<sup>2)</sup>、  
木村 秀樹<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 福井大学医学部附属病院 検査部、<sup>2)</sup> 福井大学医学部 腎臓病態内科学

座長 大江 宏康（金沢大学附属病院 検査部）  
油野 友二（北陸大学 医療保健学部）

〈臨床化学・免疫・遺伝子・管理Ⅲ〉

### 2-12 プレセプシン測定試薬の検討

○岡田 敏春<sup>1)</sup>、黒瀬 知美<sup>1)</sup>、関口 清美<sup>1)</sup>、圓道麻利子<sup>1)</sup>、山野 智子<sup>1)</sup>、鳥居 国雄<sup>1)</sup>、  
旭 ななえ<sup>1)</sup>、飛田 征男<sup>1)</sup>、井村 敏雄<sup>1)</sup>、岩野 正之<sup>2)</sup>、木村 秀樹<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 福井大学医学部附属病院 検査部、<sup>2)</sup> 福井大学医学部 腎臓病態内科学

### 2-13 十全大補湯による NK 細胞機能増強効果の検討

○佐藤祐樹<sup>1)</sup>、片桐孝和<sup>2)</sup>、森広太郎<sup>3)</sup>、小川恵子<sup>4)</sup>、森下英理子<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 保健学専攻、

<sup>2)</sup> 金沢大学医薬保健研究域保健学系 病態検査学講座、

<sup>3)</sup> 金沢大学医薬保健学域保健学類 検査技術科学専攻、

<sup>4)</sup> 金沢大学附属病院 漢方医科学

### 2-14 本邦のリポ蛋白リパーゼ（LPL）欠損症の脂質プロファイルの特徴

— 非 LPL 欠損症との比較 —

○小林 淳二

金沢医科大学 総合内科学

### 2-15 ケミルミ hs トロポニン I による抗癌剤治療患者の心筋傷害評価

○藤木 翔太<sup>1)</sup>、北川 文彦<sup>1)</sup>、中村 和広<sup>1)</sup>、齊藤 翠<sup>1)</sup>、武田 淳<sup>1)</sup>、  
久野 貴弘<sup>1)</sup>、藤田 孝<sup>1)</sup>、石川 隆志<sup>1)</sup>、成瀬 寛之<sup>1,2)</sup>、石井 潤一<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup> 藤田保健衛生大学病院 臨床検査部、<sup>2)</sup> 藤田保健衛生大学医学部 臨床検査科